

## 計画書の作成資料

### (1) 街路樹維持管理計画書の作成資料

<input type="checkbox"/> 1	管理資料1：維持管理見直し計画表	1
<input type="checkbox"/> 2	管理資料2：街路樹管理スケジュール（見直し後）	2

### (2) 街路樹改善計画書の作成資料

1	．路線の環境特性図	3
2	．全体位置図	4
<input type="checkbox"/>	改善資料1-1：課題抽出図（街路樹）	5
<input type="checkbox"/>	改善資料1-2：課題抽出図（根上り）	6
<input type="checkbox"/>	改善資料1-3：課題抽出図（肥大化）	7
<input type="checkbox"/>	改善資料1-4：課題抽出図（景観）	8
<input type="checkbox"/>	改善資料2：改善計画の総括表	9
<input type="checkbox"/>	改善資料3：街路樹改善計画平面図	10
<input type="checkbox"/>	改善資料4：改善計画スケジュール	12

維持管理見直し計画表

作成の前提条件

管理区間の設定： 現況の単年度道路美化対策の5つの管理区間について見直しを図る。  
 作業内容の確定： 現作業内容及び今後必要と考えられる項目も加えて検討する。(単年度毎に必要な事項と複数年管理が必要な事項の区分をする。)  
 見直し方針： 管理内容における必要性・コスト性に配慮し、その作業の効率的な時期や回数について評価する。

作業項目	現況の街路樹管理状況	街路樹管理状況の結果 の整理による課題の抽出	見直し後の街路樹維持管理計画	備考		
				単年度	複数年	
高木	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道325・県道熊本益城大津線=行われていない。</li> <li>国道443は、周辺畑地への日陰制限から樹冠縮小・整形作業を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風対策・肥大化抑制・管理目標樹形の設定が必要。(改修計画対象外の高木)</li> <li>徒長枝、不要枝が多いので極力これを除く剪定を行いたい。必要に応じて、樹冠切り返し、樹冠整形を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高木の管理目標樹形を設定し基本剪定の実施を計画する。5年に1回伐採を主とした整形剪定を実施する。(当該作業予算が確保された時点から実施する)</li> <li>国道443は、樹木ごとの状況に応じ3～5年ごとに樹冠縮小・整形剪定(軽剪定)の実施を検討する。</li> </ul>	-	-	
剪定	<ul style="list-style-type: none"> <li>低木剪定は毎年行われている。</li> <li>出入口の視距の確保は必要に応じて切り下げ剪定と低木撤去を実施中。</li> <li>撤去箇所は、防草舗装工で対処している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花付が悪い。</li> <li>樹種の適期に行われているかの確認が必要である。</li> <li>ヒラドツツジ区間は出入口の視距の確保が必要な場所を再確認が必要である。</li> <li>剪定の位置や高さの統一が必要である。</li> <li>高木の根元が低木に隠れて確認出来ない箇所が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹種に応じた適期の剪定を実施する。</li> <li>視距に配慮した低木の管理</li> <li>主要交差点や出入口部の低木は、H=50cm以下で剪定管理し、必要に応じて撤去する箇所は草叢等に配慮した地被植栽の取付を検討する。</li> <li>低木剪定の位置や形状の統一をする。</li> <li>樹木チェックリストの点検時に草木の根元の根元が確認できるような高木の根元周りの低木を剪定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要な花木の剪定時期</li> <li>サツキツツジ 5～6月に実施。</li> <li>ヒラドツツジ 4後半～6月に実施。</li> <li>中低木剪定の形状の管理を統一する。</li> <li>中央分離帯低木の側面は緑石より25cm内側・H=1.5～2.0mで剪定する。</li> <li>歩道側樹帯低木は、基本的に路面高H=50cm以内を目安とする。</li> <li>歩道側樹帯低木の側面剪定位置は、道路緑石より25cm内側、歩道緑石の内面で管理する。基本管理高はH=50cm以内を目安とする。</li> </ul>	-	-
除草	<ul style="list-style-type: none"> <li>2回/年行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在春刈・除草作業は、2回/年では不足する箇所がある。特にサツキツツジの区間は樹勢が悪く枯れ抜けが多いため雑草の侵入が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>春刈に配慮すれば人力作業のみにおいては、3～4回/年実施が望まれるが、コスト性を考慮し現作業の2回を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>草刈・除草作業の美化効果を満足するため、安全・安心を前提とした今後の試行検討が必要。(今後本県の基本方針に沿って対応する)</li> </ul>	-	-
除草剤散布	<ul style="list-style-type: none"> <li>行われていない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>実施が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現況区間では、これに起因する衰弱はないので行わない。</li> </ul>	-	-
施肥	<ul style="list-style-type: none"> <li>行われていない。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況区間では、これに起因する衰弱はないので行わない。</li> </ul>	-	-
病虫害防除	<ul style="list-style-type: none"> <li>年1回(中・低木)行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花芽が虫に食われている。(管理業者側取)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理上年1回は見込む。</li> <li>点検により必要に応じて効果的な時期を協議し施工する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不必要な場合は、作業予算を削減等へ移行する。</li> </ul>	-	-
灌水	<ul style="list-style-type: none"> <li>行われていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>干ばつ期に葉色の変色が見られ、樹勢の衰弱した木が見受けられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>灌水期には必要性的確認を行い対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常湯水が長期となり枯れが予測される場合には協議により対応する。</li> </ul>	-	-
支柱手入	<ul style="list-style-type: none"> <li>行われていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支柱材の枯損箇所が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植付後5年以降のものは撤去するが、予算に応じて施工の工程を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に該当するものは一括撤去とする。</li> </ul>	-	-
街路樹点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回パトロールを2回/月(24回/年)実施し、その報告書を提出している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20年度に沿道高木の番号付けを行い、樹木管理台帳を作成している。</li> <li>21年度に沿道街路樹の簡易診断調査を作成し、リスク樹木の把握をしている。</li> <li>伐採木・撤去木の箇所も点検で把握している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回パトロールにおいて街路樹管理チェックリストによる点検を1回/年実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐竹等により風倒木の危険があるものについては、専門家に相談し迅速に対処する。</li> <li>・チェックリストの点検は、台風前に1回の外観目視点検を実施する。</li> </ul>	-	-
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐採木の切株は残している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>切り株にキノコの発生箇所がみられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>切株の撤去を基本とし、緑石や舗装を破壊しない工法で掘り取りを検討する。現在地上掘出部は早期に景観的対応を行う。</li> <li>・伐採や枯損木撤去部は、樹間や草叢の検討を加え補植を計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後緑石や舗装を破壊しない工法を検討する。</li> </ul>	-	-

## 街路樹管理スケジュール - 2 (1工区) (様式例)

現況			国道325号 区間その1 (台帳番号12~26)												備考
作業項目	種別	本数及び面積	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
高木剪定	落葉樹	0本													作業しない
	常緑広葉樹	0本													
中低木剪定	中木														
	ツツジ類	732 m <sup>2</sup>													
	アベリア外	605 m <sup>2</sup>													
地被類剪定	ツタ類	0 m <sup>2</sup>													
	ササ類	0 m <sup>2</sup>													
	その他	0 m <sup>2</sup>													
病虫害防除 (年1回)	高木	54本													
	中木	518本													
	低木寄植	4913 m <sup>2</sup>													
抜根除草 (年2回)		17820 m <sup>2</sup>													
芝刈り (年2回)		97 m <sup>2</sup>													
補植															
巡回		24回													
その他															



### 街路樹維持管理計画書の作成資料2 【5年サイクルの場合の例】

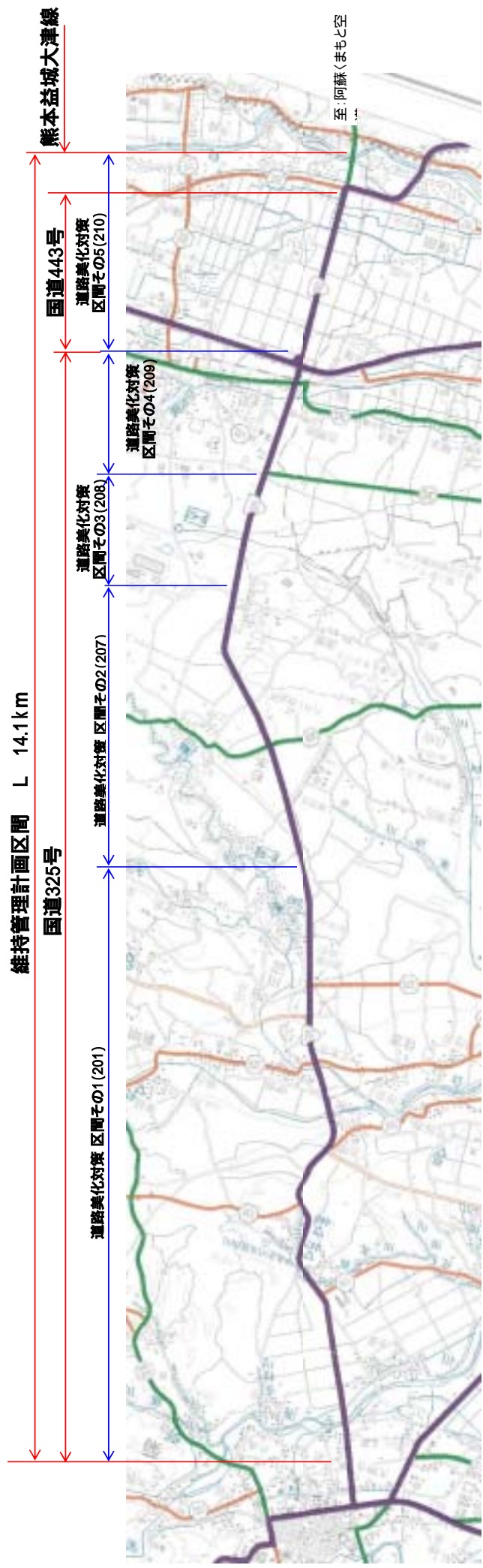
見直し後			国道325号 区間その1 (台帳番号12~26)												備考													
作業	内容	対象樹木	1年目				2年目				3年目				4年目				5年目									
			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12	1	2	
植栽・補植	針葉樹																											
	常緑樹																											
高木	落葉樹	ケヤキ																									対象樹木の全体本数を 5年サイクルに応じて年度 分割し、1回目の剪定 を行い、以降は、5 年の間隔で維持管理を 行って行く。	
	常緑樹																											
剪定	花木	植樹帯	サツキツツジ																								樹種に応じた適期を設定	
		ヒラドツツジ																										
		ヤブツバキ																										
		カンツバキ																										
	低木	中央分離帯	-																									
		花木以外	植樹帯	シャリンバイ																								
			マメツグ																									
			コグマザサ																									
			シバ																									
		中央分離帯	コグマザサ																									
中木	中央分離帯	ヒイラギモクセイ																										
	植樹帯(右)	カイズカイブキ																										
除草	草刈・除草	年2回																								種子が散る前に行なう		
	除草剤散布																											
施肥																												
病虫害防除	高木 中木 低木	1回/年																								点検により必要に応じて 時期を協議		
灌水																										点検により必要に応じて 協議		
支柱手入																										植付後3年以降は撤去		
街路樹点検	巡回パトロール																									2回/月		
	日常点検	街路樹管理チェックリスト																								1回/年		

- 1) 通常管理において、樹木の特性を考慮し、適切な時期に対応した計画サイクルとして見直します。
- 2) 管理計画サイクルは、街路樹点検により樹種に応じた育成度合いによる年度割を設定して下さい。

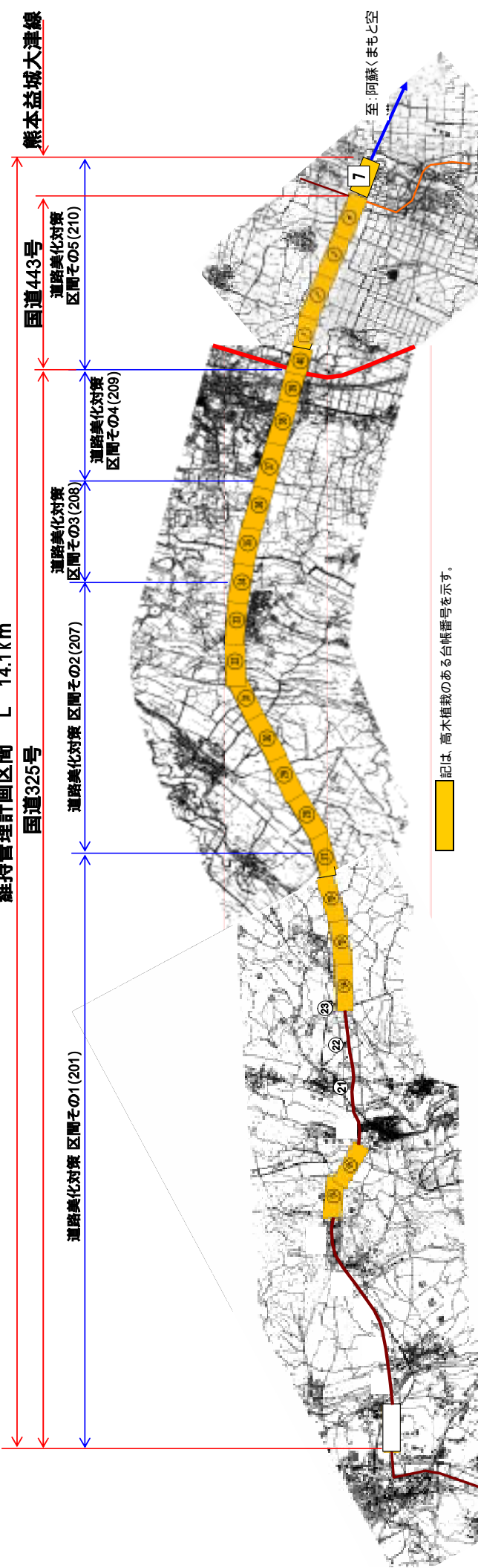
### 【5年サイクルの場合の例】



維持管理区間位置図



道路台帳位置図

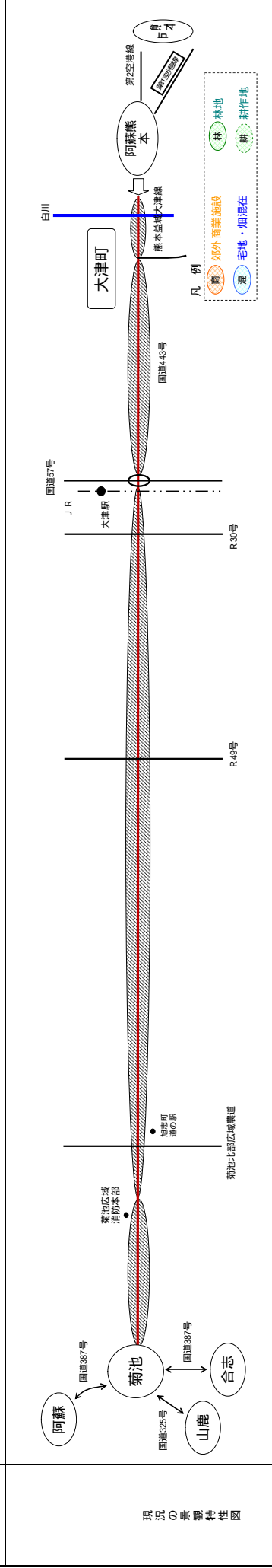


路線名		国道325号線 L=12.1km		国道443号線 L=2km	
景観形態		都市近郊・(耕作地)部		田園景観部	
道路台帳番号	12~17	24~29	31~36	1~4	
樹木番号	サツキツツジ	ケヤキ 24~166	ケヤキ 167~204, 360~541	ケヤキ 609~752	
植樹帯幅員	サツキツツジ	ケヤキ 4~126	ケヤキ 127~158, 313~405	ケヤキ 507~648	
		W=1.5m	W=1.0m+樹	W=1.5m	
植樹帯断面図					
路線模式図					
現況調査					
立地の制約	日照制約区間	一部電線の制約有(右側)	一部電線の制約有(右側)	一部電線の制約有	日照制約区間
緑地の特性	低木列植 低木類による斑(全体の20~30%程度) (特にサツキツツジの枯損が多い)	ケヤキ並木・歩道改良区(移植木)	ケヤキ並木・歩道改良区(移植木)	ケヤキ並木・歩道改良区(移植木)	ケヤキ並木・歩道改良区(強剪定・移植木)
緑地・管理面の課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>低木密植の枯損による斑(全体の20~30%程度) (特にサツキツツジの枯損が多い)</li> <li>低木数種類の混植による不景観部がある</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>幹の肥大化による幹の破損・根上り(歩道) 不要枝・徒長枝の枝量が多いのが一因。</li> <li>樹木保護ケガラの破損(幹に食い込み有り)</li> <li>遮影木の区間が一部連続している。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>幹の肥大化による幹の破損</li> <li>根上り(歩道) 不要枝・徒長枝の枝量が多いのが一因。</li> <li>腐朽木・空洞・キノコが見られる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>日照対策(南北軸道路)</li> <li>不要枝量が多く幹の肥大化・根上りが見られる。</li> <li>腐朽木・空洞・キノコが見られる。</li> </ol>	









主要な区間の景観	田園		耕作地		住宅・畑舎		林地		郊外商業施設		耕作地			
	Cゾーン	Bゾーン	Aゾーン											
運断者の視点 (景観要素)	<ul style="list-style-type: none"><li>開放的な菊池市近郊の田園 - 市街 - 山地を望む風景</li><li>沿道低木による遮断ライン</li><li>菊池平野を取り囲む山なみや街なみ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>のどかな郊外部景観 (樹間が開いても寂にならない)</li><li>樹間が開いても寂にならない</li><li>樹陰の不均一性あり - 沿道低木のライン</li><li>空なみ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>のどかな郊外部景観 (樹間が開いても寂にならない)</li><li>樹間が開いても寂にならない</li><li>樹陰の不均一性あり - 沿道低木のライン</li><li>空なみ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>森林地内の高草が本葉脱落時等音障の無い区間: 樹影旺盛で自然度の高い景観</li><li>沿道低木のライン</li><li>空なみ</li><li>積量のある緑地 (森) 景観</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>並木景観 (一部連続性に欠ける)</li><li>統一性のない建築物の混在</li><li>沿道低木のライン</li><li>空なみ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>並木景観 (一部連続性に欠ける)</li><li>統一性のない建築物の混在</li><li>沿道低木のライン</li><li>空なみ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ピスタの刈りた並木景観</li><li>のどかな田園景観</li><li>沿道低木のライン</li><li>大津台地の緑地 (大津 菊池)</li><li>益城台地の緑地 (菊池 大津)</li><li>空なみ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>並木 (部分的に連続性に欠ける)</li><li>大津台地の緑地 (大津 菊池)</li><li>益城台地の緑地 (菊池 大津)</li><li>空なみ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>緑陰機能 (歩行者は少ない)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は少ない)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>緑陰機能 (歩行者は少ない)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は少ない)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>遮断機能 (歩行者は少ない)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は少ない)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>遮断機能 (歩行者は少ない)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は少ない)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li><li>遮断機能 (歩行者は多い)</li></ul>		
遠景観要素														
歩行者の視点 (景観要素)														
緑化機能要素	高木	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>なし</li><li>通字部の利用有 (緑陰機能は無い)</li></ul>	
	中木	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>菊池側起点部左寄路肩に遮断機能としての生垣植栽あり</li><li>植栽: カイヌカブツナ</li></ul>
	低木	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導・修景機能あり</li></ul>
処理すべき課題	<ul style="list-style-type: none"><li>枯損により枯れかけた寄せ植えと樹木の混在の修景対策</li><li>防草対策 (雑草の繁殖がひどい)</li><li>維持管理費削減対策 (低木管理面積)</li><li>菊池側からの玄関口としてのコート木の並木確保・緑陰確保 (新習城や阿蘇方面へのアクセスの強調)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>管理目標樹形と剪定管理の設定</li><li>美しい樹冠の創出 (徒長枝・不要枝の処理 = 枝量量の軽減)</li><li>枯損木部の補植</li><li>移殖木の支柱の枯れ下がりや時枯れ対策</li><li>出入り口の距離確保に配慮が必要 (植栽対策)</li><li>維持管理費削減 (低木管理面積)</li></ul>	

改善計画の総括表

路線名	国道325号・国道443号・県道熊本益城大津線	
路線のテーマ	(仮称)美しく安全な菊池・大津ウヤキ並木通り(菊池・大津ウヤキ街道)の創出	
計画の基本方針	阿蘇熊本空港の空の玄関口及び新幹線開通による熊本市内方面(第1・第2空港線、国体道路)から阿蘇・東北方面への主要観光導入路線として、品格ある地域性を醸し出す街路樹を創出する。	
現況の景観特性図		
路線区分	国道325号	国道443号・県道熊本益城大津線
景観形態	田園景観部	都市近郊区
緑化機能	交通安全機能 緑地形成機能 修景・景観向上機能	交通安全機能 修景・景観向上機能
主要な区間の景観写真		
運転者の視点(景観要素)	開放的な菊池平野の田園～市街～山地 のどかな郊外部景観	
歩行者の視点(景観要素)	のどかな農地と点在する民家の景観 のどかな田園～益城台地の景観	
遠望景観要素	菊池平野を取り囲む山なみや街なみ 空なみ	
緑地の課題	高木	根上がり・肥大化対策 徒長枝・不要枝の枝葉量軽減 枯損木・腐朽木の対策 大枝の枯れ下がりや幹焼け対策 架空線制約の対策 欠損木箇所・不景観根株の対処
	中低木	枯損による枯抜対策 雑草の繁茂
	その他	玄關部としてのゲート性の確保 高木の反射タープが景観不調和
美しい沿道景観維持管理改善対策方針	1 美しい樹形をつくる。 管理目標樹形と剪定管理の設定 日陰制限の対策 樹形再生の育成管理 架空線制約の対策 根上がり対策・腐朽木対策 樹木サークルの破損処理対策 視距の改善対策 支柱撤去 2 健全で安全な街路樹を育てる。	

改善計画における諸課題については、以下のような基本方針を設定し対策を図る。

課題事項	改善の基本方針	備考
1. 根上がり対策	根上り箇所については、植栽基盤土壌について必要に応じて樹木医の診断を仰ぎ、診断結果に基づき歩道側の地盤改良を行い、深層疎鬆するなどの効果的な改善を図る。	改善事業対象
2. 植栽基盤土壌の改善対策	当対策は、基本的に根上り対策に基づき改善処理として同時に実施するものとする。具体的には、歩道直下の理め戻し工の次の次下を防止するための根系誘導耐圧基盤材により基盤土壌改善を行う。	改善事業対象
3. 肥大化抑制対策(整枝剪定)	・ 改善事業により実施する対象木は、地下根系の切除が必要な場合の樹木とし生態バランスに対応した地上部の枝抜剪定対策を同時に実施する。 ・ 管理目標樹形を設定し第一段階として整枝剪定により骨格となる基本樹形をつくる。具体的には基本となる大枝以外の枝下ろし、徒長枝・不要枝の枝抜きによる生体バランスを考慮して、全体として約40～50%程度の枝抜き率で実施する。 ・ 枝葉量の抑制を行い光合成による栄養分の蓄積を抑制し、病虫害防除や台風対策にも繋がるような健全な育成管理を継続して行く。	改善事業対象
4. 樹木サークルの破損処理対策	・ 地下根系の切除が不要な樹木は、改善対象とはならないため通常の維持管理事業で対応する。(維持予算の状況により適時対応する計画とする。) ・ 樹木の肥大化根上りに起因し歩行障害となっている樹木サークルの破損箇所を、腐植剤の投入を防ぐ処理も実施する。	維持管理事業 改善事業対象
5. 視距の改善対策(出入り口植栽帯)(中央分離帯)	・ 樹木サークル撤去後の根元や根上り処理は、1の対策に準じる。 ・ 出入口の植栽帯にヒラツツジが植栽されている区間が対象で、道路バトロールにより障害箇所を把握し、低木撤去を基本に防草に配慮した復旧工を行う。 ・ 中央分離帯も障害となる部分の範囲について同様の処理を行う。	改善事業対象 撤去後は、対象の状況に応じた施工とする。
6. 補植・新植等の樹間設定	・ 枯損や腐朽などにより伐採された箇所及び新植部は、並木の連続性を確保するため植栽を実施する。その間隔距離は対象区間の管理目標樹形や景観特性などを考慮した距離を設定する。概ね3.0m内外を目安とする。	改善事業対象
7. 日陰制限の対策	・ 国道443号がこの主対象区間となる。 ・ 基本的に維持管理事業で実施する。現況の枝葉量は、不要枝・徒長枝などが多いので日陰対策に重点を置き、歩道防除や台風対策への効果も図込み、管理目標樹形に応じた枝抜き率を現況より上げた整枝剪定を基本として行う。 ・ 日陰率をいかに上げていくかを、管理目標樹形は、現況管理のBタイプ剪定とし、3～5年以内に不要枝などの整枝剪定(軽剪定)を行う。	維持管理事業
8. 樹形再生の育成管理	・ 計画対象は、整枝剪定の施された移植木がその対象となり、管理目標樹形に応じた定期的(約5年サイクル)な整枝剪定を基本に樹形を育成する管理とする。	維持管理事業
9. 架空線制約の対策	・ 現況では、架空線に影響を及ぼしている樹木が数ヶ所見受けられる。 ・ 管理目標樹形に応じ架空線を樹内に取り込み、双方に影響がないような枝抜き及び剪定を行うものとする。	維持管理事業
10. 支柱撤去の対策	・ 植樹後5年以上経過している支柱は基本的に維持管理事業で撤去する。 ただし、改善事業における対象木はその事業で行う。	維持管理事業



菊池市

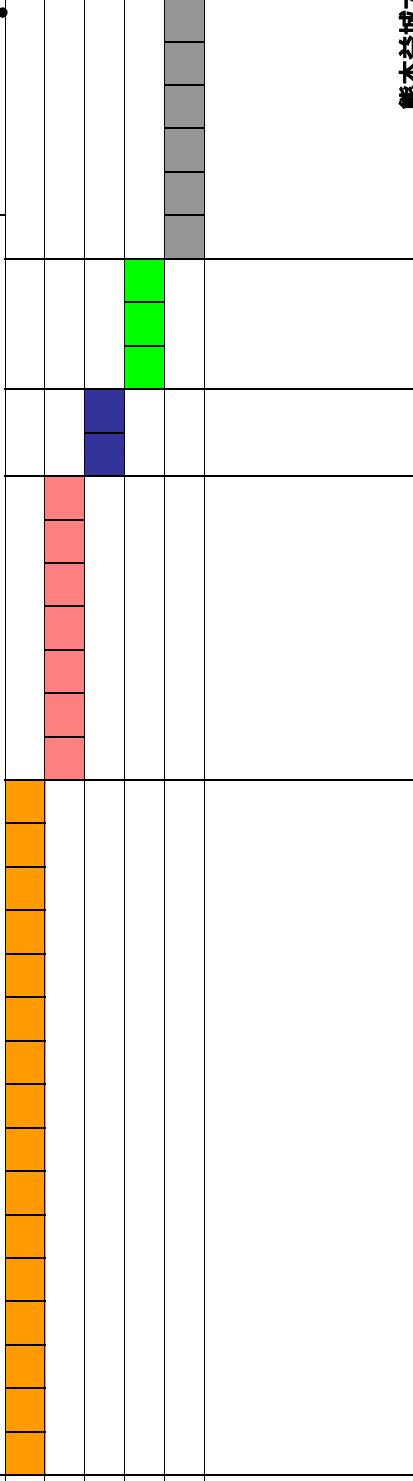
国道325号

国道443号・熊本益城大津線

大津町

維持管理計画区間の設定

- 道路美化対策区間(その1)
- 道路美化対策区間(その2)
- 道路美化対策区間(その3)
- 道路美化対策区間(その4)
- 道路美化対策区間(その5)



熊本益城大津線

国道443号

国道325号

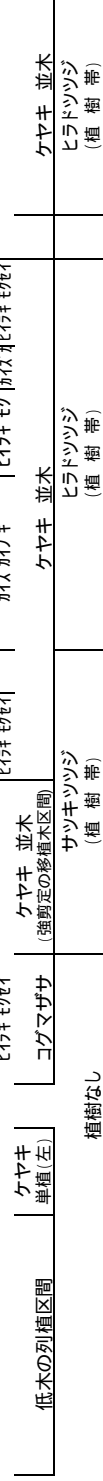
菊池市

大津町

道路台帳番号



現状の緑地状況



改善計画区間の設定

根上がり・肥大化抑制改善区間

植樹帯・低木の改善区間

補距の改善区間

改善計画区間の設定	単価 (千円)	金額 (千円)	数量		諸経費込
			右	左	
根上がり・肥大化抑制改善区間			460	214,360	
植樹帯・低木の改善区間			486	214,360	
補距の改善区間			30	37,500	
			1250		
			m		

管理目標樹形の設定区間(低木のみ)

管理目標樹形の設定区間(ケヤキ)



枝の多い木は早期に基本剪定をする。

基本剪定(整枝剪定)後 3~5年以内に基本剪定(整姿剪定)を行う

日陰対策(維持タイプ)

現状の管理樹形が基本系

管理目標樹形完成後3~5年以内に基本剪定(整姿剪定)を行う

基本剪定(整枝剪定)後 3~5年以内に基本剪定(整姿剪定)を行う

日陰対策(維持タイプ)

現状の管理樹形が基本系

